

ビューラキャピタルイノベーションホールディングス株式会社

会社紹介資料

1 | なぜ VURA を創業したのか

世界中の人々を、幸せにしたい。そのために、まだない未来を自分たちの手でつくりたい。これが、私が VURA を創業した理由です。

私が実現したい未来は、四つあります。人がより長く生きられること。地球の安全を守ること。毎日の暮らしをより快適にすること。そして、未知の世界に挑戦できること。どれも、人類にとって大切な未来です。

この思いを掲げるだけで終わらせたくありません。この四つの未来に、私自身のお金と時間を投じ、企業への投資と経営参画を通じて、新しい事業や価値を生み出していきます。

一社が生み出した価値を、人と社会へ届ける。その積み重ねによって、世界中の人々の幸せにつながる未来を創る。それが VURA の仕事です。

2 | とともに取り組む相手とテーマ

企業の転換点に、経営の当事者として関わる。

VURA は、経営層との対話から始まり、特定のテーマの実行、経営への直接参画など、企業の状況に合わせて関わり方を設計します。

・グローバル PE ファンド様

課題：投資先のバリューアップ方針は描けたが、AI 活用や組織変革を現場で泥臭く推進できるトップ層が不足。

VURA の役割：日本の投資先企業における成長戦略、新規事業、組織変革を経営の立場から推進し企業価値向上を実現。

・ファミリー企業・オーナー様

課題：確かな強みはあるが、次世代のテクノロジー適応や次世代経営体制の絵が描けていない（後継者不在含む）。

VURA の役割：自社の強みを見極め、次の経営体制と事業の可能性をともに考え実行。事業承継の新しい形も模索。

・取締役・CEO 様

課題：既存事業の延長ではない、AI 起点の非連続な成長や新会社設立を急ぎたいが社内に推進リソースと知見がない。

VURA の役割：既存事業の成長に加え、AI 時代に向けた事業転換、新会社設立、企業価値の再定義を右腕として実行。

3 | 経営参画と実行の実績

構想を、動く事業へ。（VURA の経営参画・実行経験）

【事例】新会社設立・新規事業立ち上げ

VURA は、新会社設立および新規事業の立ち上げにおいて、アドバイザーではなく「事業責任者・経営側の立場」から構想と実行に深く参画しています。

・実行領域の広さと推進力：外部からの助言・計画策定にとどまらず、新しい経営体制・組織の構築、新サービス開発、アライアンス交渉、実際の営業活動、デリバリーに至るまで、事業を動かすために必要な全領域を一人称で推進します。戦略と実行の分断をなくすことで、構想から数ヶ月単位でのスピーディな事業ローンチと非連続な成長を実現しています。

・柔軟な関わり方：VURA の実績と代表者の経験を土台に、案件ごとに担う役割と責任を明確にして取り組みます。投資や資本参加の有無を含め、最適なスキームを柔軟に検討・設計します。

4 | 実践に裏付けられた思想と代表経歴

戦略、技術、経営を横断し、理論と実践を循環させる。

門脇 直樹 | 代表取締役社長 CEO

京都大学工学部卒業後、ソニーグループ（エンジニア）、IBM（AI・デジタル変革・新規事業を約 20 年主導）、PE 投資先企業（CEO として経営・組織改革推進）を歴任。「技術×ビジネス×経営」の第一線で培った経験を土台に、AI 時代の経営理論「未来価値理論（Future Value Theory）」を提唱。著書・論文を多数発表し、経営の実践と研究の循環を探究しています。慶應義塾大学ビジネススクール非常勤講師、経済同友会会員、総務省登録アドバイザー。

5 | 会社概要

会社名：ビューラキャピタルイノベーションホールディングス株式会社（VURA Capital Innovation Holdings Inc.）

設立：2026 年 4 月 資本金：1,000 万円

所在地：東京都港区海岸一丁目 2 番 20 号 汐留ビルディング

事業内容：投資・経営参画・企業価値再定義

Web：<https://www.vuracapital.com/> お問い合わせ：<https://www.vuracapital.com/contact>

まずは、直面している経営課題や、これから実現したいことをお聞かせください。